



2026年1月22日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 植木原宗平
(コード番号: 9235 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 員 後 藤 祐 弥
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ（証券コード 9235）、

【国内上場企業初】「ChatGPT／LLM 広告」市場への本格参入および

専門組織「ChatGPT／LLM 広告事業化部門」新設に関するお知らせ

～数兆円規模の巨大市場で、先行者利益とデファクトスタンダード獲得を目指す～



売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：植木原宗平、東証グロース市場：証券コード 9235、以下「当社」）は、今後世界的に爆発的な拡大が見込まれる「ChatGPT」をはじめとする大規模言語モデル（LLM）上の新たな広告市場において、圧倒的な先行者利益を獲得すべく、当社調べによると国内上場企業としては初めて、「ChatGPT／LLM 広告」への本格参入および事業化を専門に推進する「ChatGPT／LLM 広告事業化部門」を新設いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本格参入の背景と目的：検索市場から対話型市場への歴史的転換

現在、生成AIおよび大規模言語モデル（LLM）の進化により、インターネットの入口は従来の「キーワード検索（ググる）」から「AIとの対話（AIに聞く）」へと歴史的なパラダイムシフトを起こしています。この変化は、既存の検索連動型広告（リストティング広告）市場の一部が、ユーザーの質問意図を深く理解して回答する「対話型AI広告」へと移行することを意味しており、広告業界における10年に一度の巨大な地殻変動です。

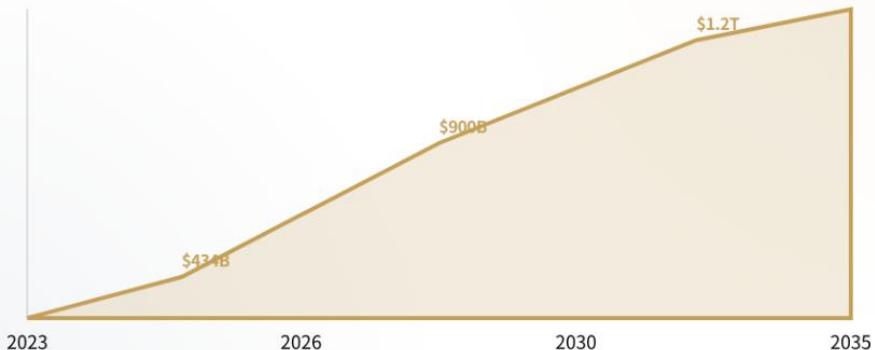
海外の先行事例では、既に AI チャット上でのスポンサー推奨や、文脈に応じた企業情報の提示に関する検証が進んでおり、対話型 AI は単なるツールではなく、次世代の最強の広告プラットフォームになると確実視されています。



市場調査機関等の予測によれば、生成 AI 関連市場は今後数年で世界的に数十兆円規模に急拡大し、中でも対話型 AI を起点とするマーケティング領域は、**数兆円規模の巨大市場**を形成すると見込まれています。

当社はこの未開拓市場に他社に先駆けて参入することで、**市場のルールメイカーとしての地位を確立します。**

世界市場規模：2035年に1.2兆ドル（約180兆円）へ



※Fortune Business Insights / JEITA 各種予測を基に統合

2. 新設部門における具体的な事業戦略

このような市場環境の激変を好機と捉え、当社グループでは、D2C（ネット通販）領域で培ってきた「最強の売れるノウハウ®」を対話型 AI 領域へと進化させ、**国内初の専門組織**として以下の事業開発を強力に推進してまいります。

本部門では、以下の取り組みを中心に推進してまいります。

- ChatGPT／LLM 広告および関連マーケティング手法に関する市場調査・研究

- ・対話型 AI における広告表示や情報推薦の特性を踏まえた広告クリエイティブおよび情報設計支援
- ・広告主向けの ChatGPT／LLM 対応マーケティング戦略の立案および運用支援
- ・生成 AI 時代におけるブランドセーフティ、プライバシー、AI 倫理を考慮した広告活用支援

3. 今後の見通し

本件は、当社の持続的な高成長を実現するための**戦略的な先行投資**です。現時点では市場は形成初期段階にありますが、技術の進化スピードは極めて速く、早期に収益化モデルを確立することで、業績への貢献を最大化してまいります。

当社グループは今後も、AI・データ・マーケティングを融合した次世代広告モデルへの対応を強化し、変化する広告市場において**圧倒的な競争優位性を確立**するとともに、クライアント企業の持続的な成長支援および企業価値の向上に努めてまいります。

なお、本件による売れるネット広告社グループの連結業績に与える影響は現時点では軽微と考えておりますが、2026年7月期の連結業績にプラス寄与を見込んでおります。

以 上